

各地区業況アンケート結果（28年3月調査分）

（28年3月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

3月24日締切で、当会役員154名に対しこのアンケートを行ったところ71名の回答があり（回答率46.1%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、(数は回答実数)

1. 前年同月比増減、斑模様

問1】貴社の2月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計
売上数量/前年同月比	9	11	26	13	12	71
比率	13%	15%	37%	18%	17%	DI-11
売上金額/前年同月比	4	10	24	17	15	70
比率	6%	14%	34%	24%	22%	DI-41

2. 春先も販売増えず減少傾向

問2】貴社の営業窓口から見て3月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI
公共建設向	1	7	24	15	6	53	-33
民間建設向	1	8	26	18	7	60	-37
自動車向	1	4	19	10		34	-12
その他需要家向		9	29	20	1	59	-22
仲間取引		6	24	26	5	61	-49
計	3	34	122	89	19	267	-33
比率	1%	13%	46%	33%	7%		

3. 黒字は5割弱

問3】貴社の2月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計
企業収益状況	9	25	19	13	5	71
比率	13%	35%	27%	18%	7%	DI+28

4. 先行き期待感なし

問4】貴社における向う4月から6月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計
短期需要動向予測		13	35	19	4	71
比率		18%	49%	27%	6%	DI -20

5. 在庫調整進まず過剰感募る

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	品種別	A	B	C	D	E		3月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-50	-52	-52	-31	-39	-42	-42	-38	-48	-46	-36	-39	鉄筋用丸鋼			14	7	2	23	-48
-19	-29	-31	-15	-14	-27	-20	-23	-23	-28	-21	-30	構造用丸鋼			24	4	1	29	-21
-19	-18	-19	-17	-22	-13	-22	-10	-14	-30	-12	-15	平角鋼			22	4	1	27	-22
-41	-30	-29	-18	-25	-27	-23	-27	-25	-17	-10	-22	H形鋼		2	24	5		31	-10
-37	-27	-19	-30	-14	-27	-32	-23	-24	-33	-26	-47	コラム			14	8	2	24	-50
-38	-30	-27	-17	-26	-23	-19	-16	-30	-28	-13	-17	小形山形鋼		1	28	6	1	36	-19
-38	-30	-33	-17	-23	-26	-23	-19	-24	-28	-19	-17	中形山形鋼		1	25	6	1	33	-21
-34	-24	-30	-20	-16	-29	-30	-23	-24	-25	-27	-21	溝形鋼		1	27	5	1	34	-18
-46	-33	-48	-34	-33	-23	-34	-28	-28	-27	-25	-25	軽量形鋼C形			18	8	1	27	-37
-40	-32	-32	-22	-27	-18	-25	-40	-32	-57	-29	-44	軽量形鋼広巾			12	4	2	18	-44
-57	-43	-58	-41	-48	-56	-45	-57	-62	-40	-52	-58	冷延薄板			15	10	2	27	-52
-70	-47	-50	-31	-52	-62	-42	-55	-61	-33	-33	-59	熱延薄板			22	10	2	34	-41
-97	-32	-55	-35	-56	-67	-52	-48	-59	-32	-44	-62	表面処理鋼板			15	14	1	30	-53
-63	-41	-60	-55	-56	-67	-56	-62	-56	-42	-57	-69	酸洗鋼板		1	12	16	2	31	-61
-55	-46	-42	-33	-56	-45	-49	-49	-58	-44	-38	-63	中板			21	15	3	39	-54
-44	-33	-29	-34	-39	-39	-46	-44	-38	-30	-29	-57	厚板			24	13	2	39	-44
-22	-10	-16	-20	-11	-10	-17	-17	-14	-22	-18	-25	極厚板		1	7	5		13	-31
-32	-21	-19	-18	-15	-23	-23	-25	-23	-35	-30	-22	縞板			22	4	2	28	-29
-43	-42	-33	-29	-22	-37	-29	-34	-36	-34	-33	-32	中径角			23	9	2	34	-38
-21	-24	-21	-18	-19	-19	-25	-25	-21	-32	-14	-19	ガス管黒			27	6	2	35	-29
-25	-31	-32	-16	-23	-25	-20	-19	-20	-31	-20	-24	構造用鋼管			25	4	2	31	-26
-44	-32	-35	-26	-31	-34	-33	-33	-35	-33	-27	-38	計	0	7	421	163	32	623	-35

6. 年度末と思えないほど荷動き悪化

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	昨年は最悪の年であった。丸棒は30万トンを大きく下回った。今年は昨年より荷動きがあると思われる。春先、価格を維持しながら商いたい。
	B	現在は閑散で弱含み状態である。夏場以降にピークを迎える大型プロジェクトが予定されているため期待したい。
東北	A	一次加工の数量が前年比▲40%。鉄筋の値段が大幅に下がっている。仕事の少ないファブが多い。鉄筋工も空きが出ている業者が多い。中国人やフィリピン人などの外国人との契約を打ち切っていることでも判る。
	B	全く動きがない。連休明けから動き出すのではないかと。震災から5年が経ち、復興が急ピッチで進むことを願っている。
	C	今まで良すぎた。復興需要も続くが期待するほどないかもしれない。
	D	いつまでも良い時期が続くわけがない。震災前の正常な状態に戻りつつあると考えれば平常心でいられる。スピードは落ちるだろうが建築、土木ともに仕事はある。短期的に見れば今が辛い時期である。
新潟	A	全般的に不需要期で低調だが、一部中国向け輸出やLED照明など繁忙ユーザーもある。Hグレードファブは関東物件中心に先行き期待感はあるが、現在は一服状態である。Mグレードファブ山積み状況は直近で1~2ヶ月と低い。しばらくは秋以降の関東案件に期待するしかない。一般製造業者の仕事量確保が困難な状態が続いている。市況は足元の需給から弱含みである。
	B	年度末の需要も少ないようで、引き続き荷動きが良くない。スクラップ価格が上がり、潮目が変わったと聞くが実感に乏しい。
神奈川		一部の好調な業種を除き、期末の駆け込み需要も少なく総じて低調な状況である。
東京	A	公共、民間建設ともに期末の盛り上りが全くない。自動車、トラックもやや落ちてきている。冷延鋼板の引合いが少ない。
	B	先月にも増して需要家の仕事が減り、厳しい環境が暫く続く。価格を大事にしていきたい。
	C	酸洗鋼板を主に価格が下げ止まらず、市況の回復を鈍らせている。4月以降、先安感が強く、問屋の買い控え、流通の売り急ぎが続くと思われる。
	D	3月に入り、電話、FAXが急減した。決算月を迎え、帳尻を合わせるため今年度中は発注を抑えた。4月以降、予算を組んでの発注となる業界が多いかもしれない。(素材)某電炉メーカーの値下げ発表が原因で再販価格が2円下落した。上記の様なムードで更に売れない中で、一部損切りでまわっている。当用買いで、価格だけが一人歩きしている。(切板)切板も同様に5円下落した。3月は2月より少ない。4~6月も案件が見えてこない。
	E	市況は下押しぎみである。引合いの少なさは想像以上で、今後もこの状況は続くと思われる。
静岡	A	輸送用機械をはじめ、回復が鈍く景況は悪い。販売価格と仕入価格の値差が縮まる一方で利益が出ない。一次流通の最終需要家への売込みが激しい。

静岡	B	鉄骨ファブの材料発注はタイミング次第である。当社はファブ向の仕事はゼロに等しいが胴縁加工向けや製作の類の状況で判断しても非常に悪い環境下である。物流量により一次加工品の納期や価格の対応をしている。問屋筋の動向は全く分からない。需要が低調な地域への営業は、経費が増加するだけである。当社の関連会社（鉄骨ファブ）の業績はすごい。今後の太陽光発電事業はどうなるのか。終息と思っていたがまだ案件はあるようだ。
	C	3月に入り、量、価格とも一段と厳しい状況になってきた。
富山		建築物件の出件数が減っている。多数のゼネコンによる入札が増え、落札価格の低下が見られる。そして更に激化の様相を呈している。当然、下請けも叩かれている。
石川		現物中心の鉄屋は不調。ただ、切断（カット）加工はまずまずの数量であった。モノ造りの業種主体で信用と信頼のある商品を在庫し、信頼できる店と人材が揃っていれば買ってもらえる時代になりつつある。胡散臭い商法、商品、代表者、担当者の店は消えるしかない。後者のような店が増えれば増えるほど前者が栄える。
愛知	A	自動車メーカーの生産予測も1～3月以上に4～6月は低い水準のため全体的に低調感が続いている。年度末の駆け込み需要も店売りに関しては全くなく、引合いも非常に悪い。さらに関東のD社が採算を度外視した売込みをかけており、市場が混乱している。
	B	2月後半から荷動きが悪くなった。特に倉出しの販売量が芳しくない。原料が上がり出したが、先月値下げを発表したメーカーの影響により市況が停滞している。少し先に需要があるのだから、もうひと踏ん張りである。
	C	年度末に超多忙を常としていたユーザー（公共関連）の仕事が大幅に減少している。不況対策が不十分の中、さらに予算が削られており、デフレ脱却はできるのか。2月は、愛知製鋼の事故に伴い、減産、販売不振となった。それを支援したメーカーは好調となり明暗が分かっている。海外市況が大荒れ、海外分の一部で日本国内への振替効果が出ている。家具関連は総じて1月が悪く、2月は回復しているが今シーズンは全体的に盛り上りに欠ける商況である。
	D	平成28年に入り、あまり良くない話が多く聞かれる。その割に仕事は確実に入っている。売上もあまり落ちていない。4月からの新年度はどうなることやら。
	E	低迷状態が相変わらず続いている。ここ数年の動きからするとかなり悪い。年度末の仕事も期待ほどではなかった。3月がこの状態だと4月以降心配である。需要は期待できないが、市況相場は海外からの流入が少なくなれば底値が固まり、それが需要にも好影響をもたらすことを期待したい。
大阪		公共土木工事は皆目と言って良い位、案件、物件がなく落ち込みが激しい。民間工事も端境期で動きは悪いが、中小物件を中心に3月に入ってから若干の動きが出てきたものの、やはり全般的に低調である。中小業者も手透きのところが増えており、先行きの与信状況が懸念される。
広島		今年は実感としても、数字上でも、公共工事による年度末の需要が少なかった。地元自動車メーカー向けの動きもおとなしくなり、同業の商いも閑散ムードが漂っている。
香川		相変わらず需要が振るわない。決算、年度末も重なり、動きは鈍くなっている。市中単価もジリ安状態が続いている。4～5月についても目新しい見積り等はない。

福岡		2月度は年度末の影響からバタバタした月だったが、2月後半から少し仕事が落ちてきた。本来の年度末とは動きが少し違う感じがする。全体的に公共工事の動きが鈍い。半導体関連の仕事は忙しく、2年先まで決まっている状況だがQCD対応が出来るかどうか。大きな倒産もなく与信問題はないが、情報収集を行い管理していきたい。
北九州	A	建築物件の引合いは増加傾向である。先月に引き続き、倉出し販売は低調だが、建築向けの一次加工に関しては堅調の見込みである。
	B	相変わらず、荷動き低調で横ばいである。切断加工も短納期に対応できるようになってきている。あと1～2ケ間は、このような状況が続くと思われる。
	C	需要は低位安定。二・三次店の在庫補充が目立ち、形鋼は堅調だが、盛り上りに欠け相場はジリ安である。特にファブの値下りが目立つ。
	D	年度末の3月とは思えないほど荷動きが悪い。4月以降、仕事はあると言うが、いつ頃から出てくるのか心配である。